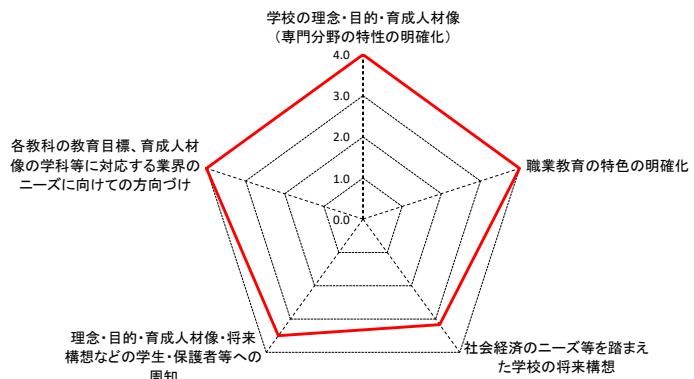


令和2年度 学校関係者評価のまとめ <学校関係者評価委員による評価と意見(改善策)>

くしろせんもん学校

1 教育理念・目標

	4	3	2	1	平均	昨年度
学校の理念・目的・育成人材像(専門分野の特性の明確化)	6	0	0	0	4.0	4.0
職業教育の特色の明確化	6	0	0	0	4.0	4.0
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想	1	5	0	0	3.2	3.3
理念・目的・育成人材像・将来構想などの学生・保護者等への周知	3	3	0	0	3.5	3.5
各教科の教育目標、育成人材像の学科等に対応する業界のニーズに向けた方向づけ	6	0	0	0	4.0	3.8

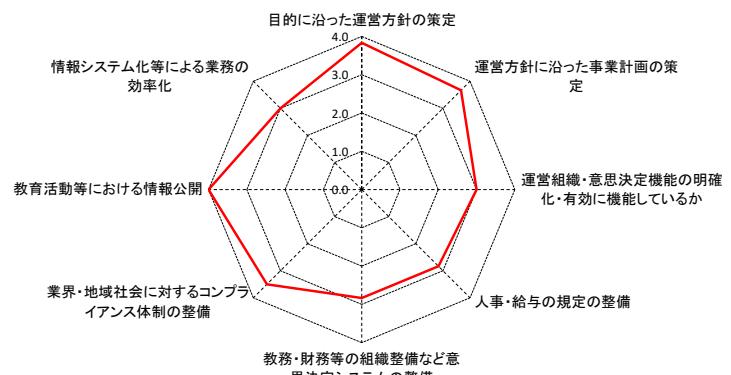


・評価によって表出した課題及び考えられる改善策

- 学校の将来構想が広く示されることが、在学生、保護者、そして将来の入学者となる高校生をも励ますものになると思います。
- 例年には保護者等の関係者への情報提供に尽力なさっておられると思います。
- 昨今の業界ニーズには膨大なものがあると考えます。人材難のなか、量的な充足が先行して求められることが多いですが、質的にも尽力なさっている本校の姿勢は評価されるところだと思います。
- 今年度は、新型コロナウイルス感染症対策により、例年とは違った学校運営を求められる中、学校の理念・目的・育成人材像を示すことや職業教育の特色的明確化などを進め、外部への発信も工夫するなど積極的な取り組み姿勢を感じます。
- 今後も外部への発信等引き続き工夫を重ねていただき、学校関係者のみならず地域住民にも浸透するよう取り組みを進めていただきたい。

2 学校運営

	4	3	2	1	平均	昨年度
目的に沿った運営方針の策定	5	1	0	0	3.8	3.8
運営方針に沿った事業計画の策定	4	2	0	0	3.7	3.5
運営組織・意思決定機能の明確化・有効に機能しているか	1	4	1	0	3.0	3.0
人事・給与の規定の整備	0	5	1	0	2.8	3.0
教務・財務等の組織整備など意思決定システムの整備	0	5	1	0	2.8	3.2
業界・地域社会に対するコンプライアンス体制の整備	3	3	0	0	3.5	3.7
教育活動等における情報公開	6	0	0	0	4.0	4.0
情報システム化等による業務の効率化	0	6	0	0	3.0	3.0



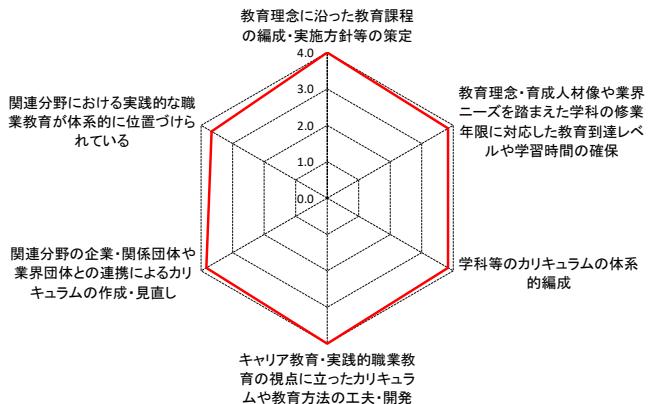
・評価によって表出した課題及び考えられる改善策

- 業務の効率化を図り、教職員のコミュニケーションの時間がつくれるようになるとよいのですが…。
- 私たち委員にとって一番把握しにくい項目ですが、これまでの関係者の発言、こちらの受け止めを総合して記載させていただきました。
- なかなか情報公開しにくい項目でしょうが、そうだからこそディスクロージャーが進めば、より地域社会からの信頼度が増すのではないかでしょうか。
- 一部分では、改善が進んでいない様子が見られるものの、様々な工夫のもと運営を進められている様子も見られるようになってきています。今後も課題の解決に向けて少しづつでも前進いただきその積み上げによる成果を期待します。

3 教育活動

(1)教育課程

	4	3	2	1	平均	昨年度
教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等の策定	6	0	0	0	4.0	4.0
教育理念・育成人材像や業界ニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保	5	1	0	0	3.8	3.8
学科等のカリキュラムの体系的編成	5	1	0	0	3.8	3.8
キャリア教育・実践的職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発	6	0	0	0	4.0	3.8
関連分野の企業・関係団体や業界団体との連携によるカリキュラムの作成・見直し	5	1	0	0	3.8	3.7
関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられている	4	2	0	0	3.7	3.5

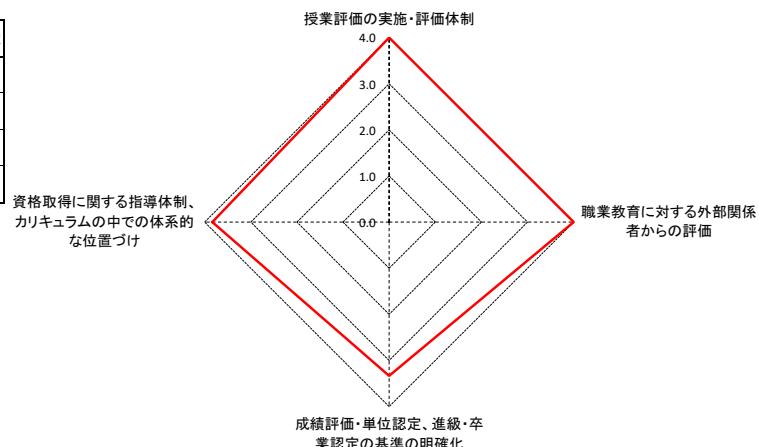


・評価によって表出した課題及び考えられる改善策

- 介護環境科における「地域福祉論」の構築にかかわらせていただきました。担当教諭のぶれない姿勢に背中を押されながら、市内の多くの専門職者やボランティアな地域住民のみなさんのコーディネートを進めさせていただきましたが、かかわっていただいたみなさんの熱意に支えられ、学生には大変素晴らしい学びを得ていただいたと思います。
- 施設であれ、在宅であれ、介護の現場は正に「地域」における現場であり、そのチームアプローチとネットワークの高揚のためには欠くことの出来ない視点であると考えます。ここの中学校に進む前に、学生のみなさんに伝えていなければならない情報があまり良く伝わっていなかつたことは、我々社協マンの忸怩たるところですので、この学びについては、今後共外部から支援させていただきたいと存じます。
- 教育課程の策定やカリキュラムの編成など大変苦心されていることだと思いますが、その成果が自己評価にも現れて来ていることに敬意を表します。学生がその時々の社会ニーズにこたえた専門職士となれるよう、今後も進めていただきたいと思います。
- 今年度は、新型コロナウイルス感染症対策により制約が多い中ではありましたかが、実習を行うことができ、これにより学生の成長の機会が確保できたことは良かったと思います。今後も先生方のご苦労や制約はあると思いますが積極的に取り組みいただきたいと思います。

(2)指導・評価

	4	3	2	1	平均	昨年度
授業評価の実施・評価体制	6	0	0	0	4.0	4.0
職業教育に対する外部関係者からの評価	6	0	0	0	4.0	3.8
成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準の明確化	2	4	0	0	3.3	3.3
資格取得に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけ	5	1	0	0	3.8	3.8

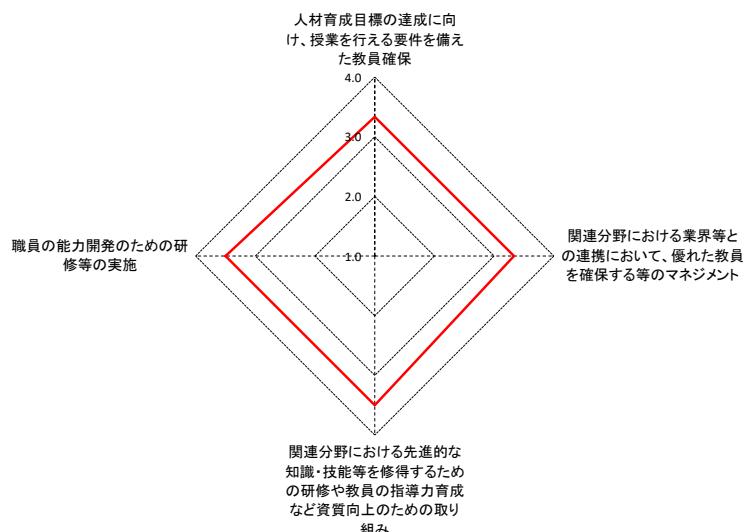


・評価によって表出した課題及び考えられる改善策

- 個別の課題を持った学生が増えている中で、専門学校の役割をどこに置いていかが課題になっていると思います。
- 資格取得には決められたカリキュラムとその組立が必要ですので、全容を俯瞰したうえでのその時々の学びの立ち位置をしっかりと認識していただくのが肝要かと思われます。その点では指導が行き届いていると思います。加えて、資格取得のために、受験のためにと、そこに求められるものに集中しすぎて、視野が狭くなるのを防ぐことが必要で、そこに現場の努力が求められるのだと思います。
- 今年度は新型コロナウイルス感染症対策による影響があったものの、授業評価や外部評価についてこれまで体制作りを行ってきた結果工夫をしながら対応されたことは良かったと思います。
- 学生個々の成績評価や進学卒業の判定についてまだ整理できていない部分があると現場で感じていることは公平な評価が制度として確立していないことにもつながっていると思いますので今後検討し、学生を含めて周知していただきたいと思います。

(3)教員・研修

	4	3	2	1	平均	昨年度
人材育成目標の達成に向け、授業を行える要件を備えた教員確保	2	4	0	0	3.3	3.5
関連分野における業界等との連携において、優れた教員を確保する等のマネジメント	2	4	0	0	3.3	3.5
関連分野における先進的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組み	3	3	0	0	3.5	3.0
職員の能力開発のための研修等の実施	3	3	0	0	3.5	3.2

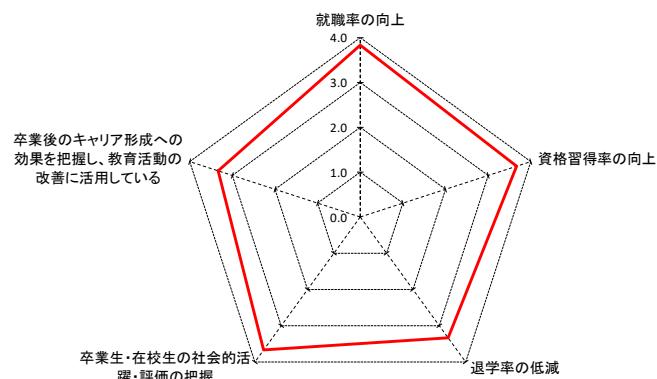


・評価によって表出した課題及び考えられる改善策

- 「学生理解」という共通の課題を持ち、全職員で学び合う体制ができていることは素晴らしいと思います。是非今後も継続していただきたいと思います。
- 「学生理解」にかかる研修を継続されていることは、とても大切なことだと考えます。
- 令和2年度は、当方が企画した福祉教育分野の研修会にご参加いただきました。全国レベルの講師から大変多くを学んだところです。今後はオンライン研修の機会が多くなると思います。教職員のみなさんの研修機会の確保につき、継続して保障してあげていただきたいと思います。
- 前年度より自己評価が下がった一因として教職員の皆さんのが、学生に魅力ある教育機会の提供を真剣に考えておられることによるものと感じました。人員面での確保など難しい課題はありますが、学校運営の中でそうした教職員の研修受講意欲を支援するため、人的体制の整備と研修実績を活用できる環境づくりを引き続き進めていただきたいと思います。

4 学修成果

	4	3	2	1	平均	昨年度
就職率の向上	5	1	0	0	3.8	3.5
資格習得率の向上	4	2	0	0	3.7	3.7
退学率の低減	2	4	0	0	3.3	3.0
卒業生・在校生の社会的活躍・評価の把握	4	2	0	0	3.7	3.3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し、教育活動の改善に活用している	2	4	0	0	3.3	3.3



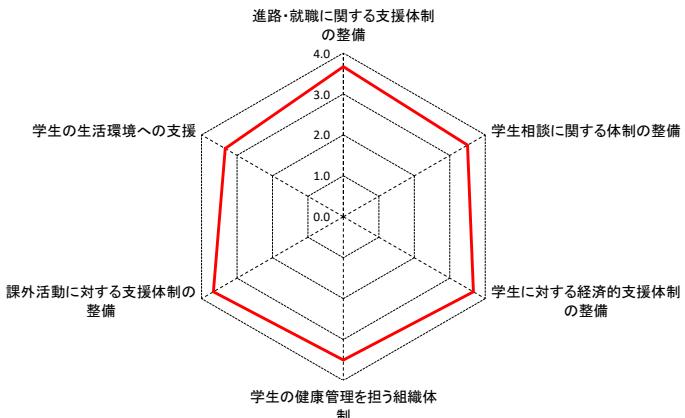
・評価によって表出した課題及び考えられる改善策

- コロナ禍ではありましたがあ、卒業後の調査や卒業生の声をオープンキャンパスで発信するなど前進的な取り組みがなされていることを大きく評価します。
- 多様な、かつ配慮を必要とする学生が少なくない中で、先生方が丁寧に学生とかかわっている様子がわかります。
- これまでも種々議論してきたように、卒業生の組織化は本校の社会的評価を高めるものであり、また、新たな学生確保の機会を広げるものであると思います。在校生への対応でご苦労なさっている中でしょうが、卒業生へのかかわりも大切にしていきたいものです。
- 今年度は、コロナウイルス感染症対策により学生のフォーローアップは、例年以上に大変だったと思いますが、退学率に増加傾向が見られなかったことは、学生への日々のかかわりによる成果だと思います。
- 卒業生と学校・在校生を結び付けていくことは、双方にメリットがあると思いますので今後もアプローチをしていただけるよう取り組みをお願いします。

5 学生支援

(1) 支援体制

	4	3	2	1	平均	昨年度
進路・就職に関する支援体制の整備	4	2	0	0	3.7	3.7
学生相談に関する体制の整備	3	3	0	0	3.5	3.5
学生に対する経済的支援体制の整備	4	2	0	0	3.7	3.2
学生の健康管理を担う組織体制	3	3	0	0	3.5	3.2
課外活動に対する支援体制の整備	4	2	0	0	3.7	3.5
学生の生活環境への支援	2	4	0	0	3.3	3.2

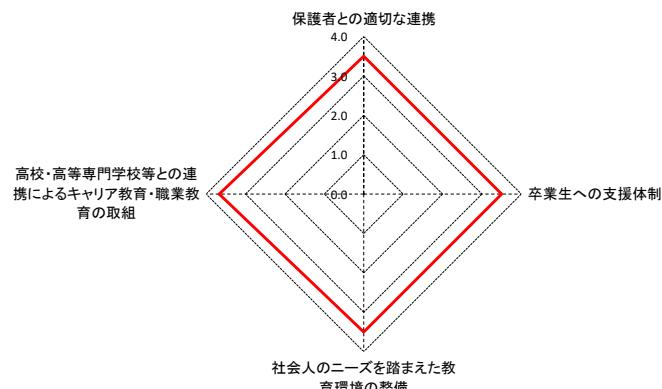


・評価によって表出した課題及び考えられる改善策

- 少ない教員体制の中で様々な課題を持つ学生を支えていくことにご苦労があると思いますが、引き続き組織的な支援体制づくりをお願い致します。
- 様々な個性を有する学生への支援には細やかな対応が必要だと思います。時にはチームアプローチでのアクションが必要でしょうから、外部の専門職の支援も得ながらも、丁寧にお進めいただきたく期待します。
- 膨大なカリキュラムの中で課外活動への参加時間が少なくなっているかとは思います。また、新型コロナウイルス感染防止の観点からの参加制限も多いかと思います。その環境の中でも、多くの学びが得られる課外活動ですので、アイディアを駆使しながら、その参加機会を創出してあげて欲しいと思います。
- 現在の学生の事情を考えると支援する側の負担が大きくなってきており、支援体制の整備を早急に進めなければ教員側の負担は今後も増え続けるものと思います。学生が安心して学べる支援体制を作ることは学生・保護者の満足度も上がり結果学校の評価も高まることにつながります。引き続き現在の課題にお取り組みいただきたいと思います。

(2) 連携体制

	4	3	2	1	平均	昨年度
保護者との適切な連携	3	3	0	0	3.5	3.2
卒業生への支援体制	3	3	0	0	3.5	3.5
社会人のニーズを踏まえた教育環境の整備	3	3	0	0	3.5	3.3
高校・高等専門学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組	4	2	0	0	3.7	3.7

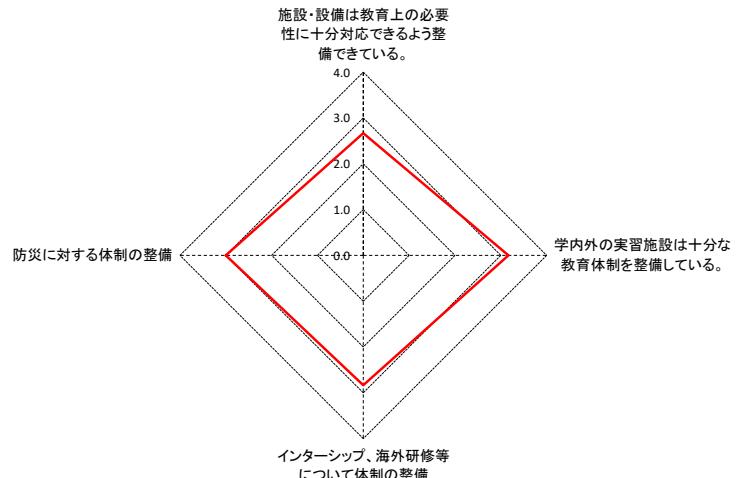


・評価によって表出した課題及び考えられる改善策

- 保護者の中には社会的に影響力を持つ方々も多いと思います。そのお力を借りて本校PRに努めていただければ幸いです。
- 社会人への教育機会として、今まさに現役学生へ専門教育を施している本校の役割には大きなものがあると思います。最新の保育・介護の知識と技術が得られる場として、アピールすることが肝要かと考えます。
- 保護者との連携は、保護者側の意識の問題からご苦労されている様子が見られます。改善に向けた突破口はなかなか見いだせないかと思いますが、今後も丁寧に進めて信頼醸成を図っていただきたいと思います。
- 卒業生への支援・連携は、新たな学生の紹介や現場で求められている知識技能などの情報把握など多岐にわたって学校にとって大きな財産になるかと思います。学校組織として取り組みが進むよう検討いただきたいと思います。

6 教育環境

	4	3	2	1	平均	昨年度
施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備できている。	1	2	3	0	2.7	2.5
学内外の実習施設は十分な教育体制を整備している。	1	5	0	0	3.2	3.2
インターフィールド、海外研修等について体制の整備	1	3	2	0	2.8	2.7
防災に対する体制の整備	1	4	1	0	3.0	2.8

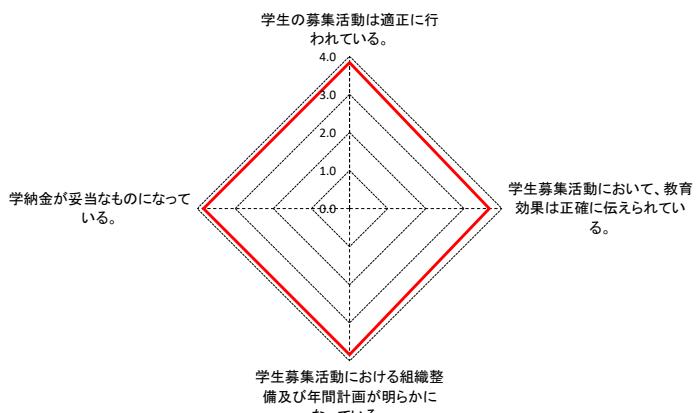


評価によって表出した課題及び考えられる改善策

- 施設・設備について、財政的に厳しい状況ではあるが、必要な修繕・整備に取り組まなければならないと考えます。
- 環境整備に対する予算が潤沢には用意できない現状においては、大変厳しい課題かとは思いますが、これまで議論してきたように、「金がなければ知恵を出す」方式で、アイディアで乗り越えて行きたいものです。ちょっとした手作り改革で、愛着が湧くものです。
- ハード面の問題は、財政的な課題を解決しなければ難しいと思いますが、学生や保護者が学校の魅力としてとらえる大きな要素でもあり、安全面からも着実に解決に向けた取り組みをしていただきたいと思います。
- 防災施設の不備や老朽化は、非常に大きな問題になるケースが多いので早急に改善をお願いします。

7 学生の受け入れ募集

	4	3	2	1	平均	昨年度
学生の募集活動は適正に行われている。	5	1	0	0	3.8	3.8
学生募集活動において、教育効果は正確に伝えられている。	4	2	0	0	3.7	3.7
学生募集活動における組織整備及び年間計画が明らかになっている。	5	1	0	0	3.8	3.7
学納金が妥当なものになっている。	5	1	0	0	3.8	3.7

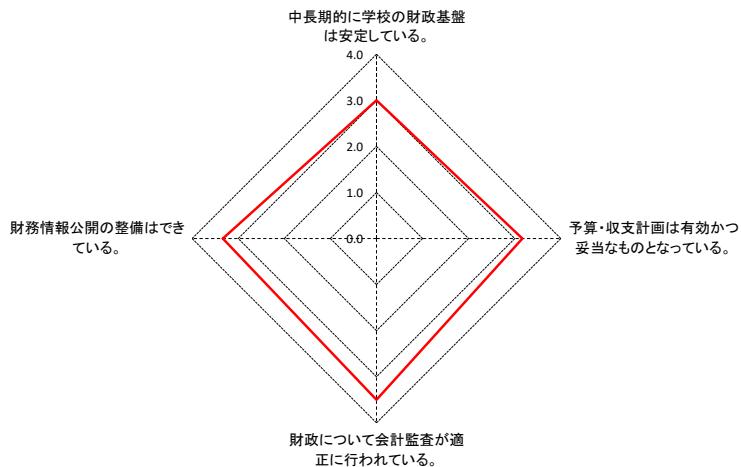


評価によって表出した課題及び考えられる改善策

- 学生募集に関しては現在の高校の果たす役割が大きいのですが、そこでの進路指導を行う教諭の姿勢に負うところがネックとなっていると思います。その意識を高めていただくことが大切で、そのためには日常的な情報交換が果たせるコミュニケーションを生み出していく必要性があると思います。
- したがって、その教諭らが所属する高等教育機関へのアプローチも大切で、保育・介護の仕事がいかに重要で期待される職業であるかの理解を深めていただく教育の場として担っていただきたいものです。その意味では教育大学の委員のご活躍に期待したいと思います。
- 現在も様々な工夫をしながら情報発信・募集活動をされていると思います。今後もそれらの募集活動の効果の検証をしながら、より良い活動につなげていただきたいと思います。
- 一方で募集活動を工夫しても学生数増は別問題で他評価項目で表出した問題点改善点に丁寧に対応していくことが大切だと思います。

8 財務

	4	3	2	1	平均	昨年度
中長期的に学校の財政基盤は安定している。	1	4	1	0	3.0	2.7
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっている。	1	5	0	0	3.2	3.0
財政について会計監査が適正に行われている。	3	3	0	0	3.5	3.5
財務情報公開の整備はできている。	2	4	0	0	3.3	3.3

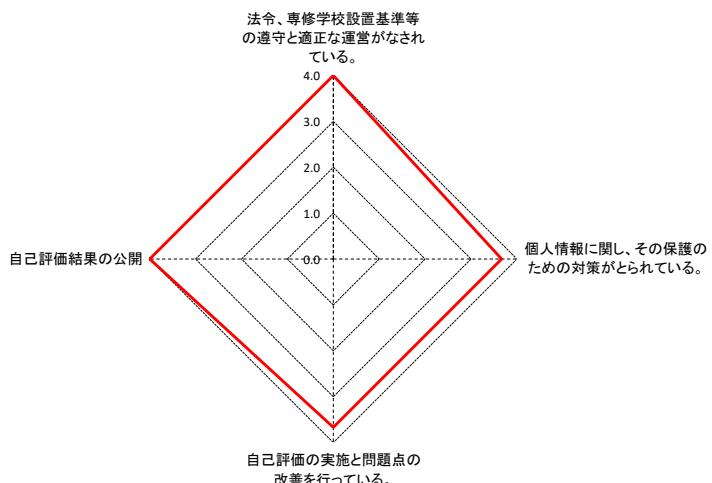


・評価によって表出した課題及び考えられる改善策

- ありとあらゆる財政支援策を導入して経営環境を整えているかとは思いますが、更に視野を広げて、チャンスを開拓する事が期待されます。単発なものも含め、積極的に情報収集し確保へ向かっての努力を求めるべきです。
- 以前にも議論したように、本校の社会的有用性のアピールを各種報道機関へ実施し、その取材を通して、世に問うていただきたいものです。
- 財務状況については、勤務されている職員の皆様の関心も高い部分だと思います。現状把握や先の見通しについてコミュニケーションいただき、安心して学生に向き合える環境づくりをお願いします。

9 法令の遵守

	4	3	2	1	平均	昨年度
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされている。	6	0	0	0	4.0	3.7
個人情報に關し、その保護のための対策がとられている。	4	2	0	0	3.7	3.7
自己評価の実施と問題点の改善を行っている。	4	2	0	0	3.7	3.7
自己評価結果の公開	6	0	0	0	4.0	4.0

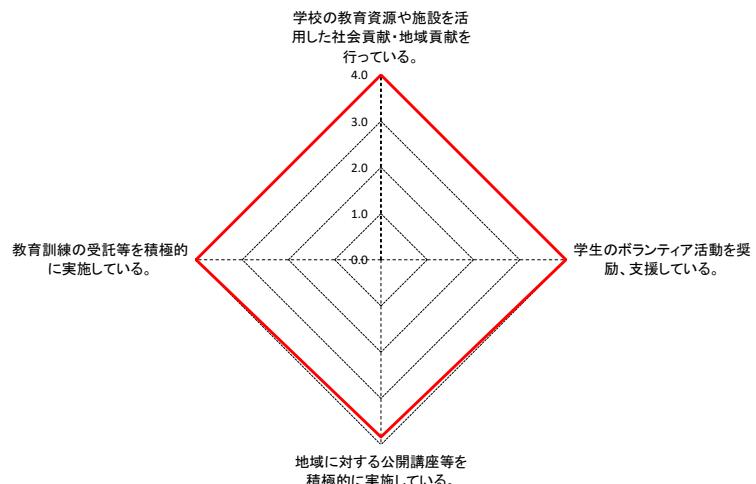


・評価によって表出した課題及び考えられる改善策

- 自己評価のスケールの統一性の精度をあげることが肝要かと思います。そのためには常に客観的にそれを見直してみることが必要でしょう。他校や他業種の自己評価スケールも参考と出来ないものでしょうか。
- 自己評価から改善の状況がうかがえますが、今後も一層の向上の為にも出た課題を解決していく体制づくりを進めていただきたいと思います。

10 社会貢献・地域貢献

	4	3	2	1	平均	昨年度
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っている。	6	0	0	0	4.0	4.0
学生のボランティア活動を奨励、支援している。	6	0	0	0	4.0	4.0
地域に対する公開講座等を積極的に実施している。	5	1	0	0	3.8	3.7
教育訓練の受託等を積極的に実施している。	6	0	0	0	4.0	4.0



・評価によって表出した課題及び考えられる改善策

- コロナ禍でも大切にしたい活動を工夫しながら取り組んでいる事は素晴らしいと思います。垂れ幕での地域への発信は、地域だけでなく人とつながることの大切さを学生自身にも伝えたのではないかと思います。
- 今般は新型コロナウィルス感染防止対策の中で多くの機会を失ってきたものと思われます。大変残念なことですが、その環境だからこそ新たな機会が創出されてきているのも事実です。例えばオンラインだからこそ参加できる社会貢献の場など、各種情報を得ながら学生と共有して行っていただきたいものです。
- 学校の特色でもある社会貢献・地域貢献で全体として良い評価となっていることは日頃からの取り組みの成果だと思います。今後も継続した取り組みをしていただきたいと思います。
- 地域との結びつき・連携は、難しい課題ではありますが地域のニーズを探りながら学校として取り組めることを少しづつ進めていただきたいと思います。

●他の課題

- この地域における、青年たちの教育機関として、くしろせんもん学校の果たしている役割はとても大きなものがあります。財政、教員の補充、学生募集他、厳しい状況の中でご苦労されることもたくさんあると思いますが、引き続きよろしくお願ひいたします。
- 慢性的な学生数の少なさに対しての対策に乏しい現状です。再三指摘している様に、本校の社会的使命には大変大きなものがあるにも関わらず、それが高校生、その親たち、何より進路指導教諭に伝わっていないように感じます。
- 地域との結びつきについては、新型コロナウィルス感染症対策により何か行うということは難しかった1年であったと思います。今後の終息後を見据えて、準備を進めていただきたいと思います。地域の側も係わり方が、わからないのが実情でもありますのでそこには知恵が必要です。

○考え方の改善策

- 一つの民間教育機関の経営の問題だけではなく、そこにある社会的使命により注目を集めるような広報・PRと、更なる支援者・団体へのアピールを高めたいものです。
- 昨今、新型コロナウィルス感染防止対策の中で高まっているクラウドファンディングの営みを導入できる機会がないでしょうか。単発でも、教育現場からの社会的アピールの場ともなるのではないかと思います。
- 今後も微力ながら委員として本校の応援団として支援したいと思います。よろしくお願ひします。
- 課題解決の最大のネックは財務面だと感じますが、どのような企業・団体でも限られた財源の中で工夫しながら最大の効果を出せるよう努力しているものと思います。今後、人口減少の中で学生数も減少が見込まれる中、どの規模で学校運営を行うことで永続できるのか、を検討していくことも必要かと思います。
- またお金をかけるべきところと工夫で補うところ(我慢するべきところ)の考え方には、組織内の立場が違えば変わってしまいます。そのギャップを埋めるためには、さらなる組織内コミュニケーションが大切だと思います。
- 学校職員が同じ認識で学生たちの為に良い学校づくりを今後も進めていただきたいと思います。

学校としての改善策

1. 教育理念・目的・育成人材像

- 小規模校だからできる学生や保護者との関わりを大切に、学校の思いや願いの発信を更に力強いものにしていきたいと思います。地域住民に向けた情報発信についても、その可能性を探っていきたいと思います。
- 学校の将来像(構想)について、職員が「経営に携わる立場」と、その具現化を目指し「直に学生の教育に携わる立場」の両方の視点が見つめられる機会を持つことができればと考えます。

2. 学校運営

- 今年度は、教員同士のフラットな関係性を築き、学生に対して柔軟な対応ができるなどを目指した「ティール運営」への本格的な取り組みがスタートしました。教職員一人一人が各担当事項について責任を持って決定し進めていくことで学校運営を活性化させていくことがねらいですが、1年間の取組の中で、目指す姿には至っていません。しかし、「ティール運営」をどう本校の実状に当てはめていくかについては見え始めてきたので、目指す姿に近づくよう、共通認識(コミュニケーション)を中心に据え、取り組んでいきたいと思います。

3. 教育活動

(1)教育課程

- 職業実践専門課程の中心課題である企業・団体等との連携、職業教育の体系化などについて振り返りを持ち、充実させていきたいと思います。実習報告会については、来年度も企業等の関係者並びに委員に出席を依頼し、学生への励ましやアドバイスなど、職業生活への意欲づくりの機会にしていきたいと思います。

(2)指導・評価

- 評価、単位認定、進級・卒業認定については、学校自己評価においても「今あるものを再検討する必要性」が指摘されています。来年度は研修の機会を設定し、より良いものとするために取り組んでいきたいと思います。

(3)教員・研修

- 「様々な課題を持つ学生個々の理解と関わり方(学生理解)」をテーマとしたに進めている研修会(全教職員対象)が今年度で3年目を迎え、年々学び(教職員の共通理解)が深まってきています。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から本校専任及び職員のみ参加での実施となりましたが、来年度は非常勤講師も含め従来の形で実施できればと思います。

- 今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から多くの研修会が中止となりましたが、自己の資質・能力の向上に向け、各人が積極的に研修会に参加しました。校外における研修への参加は、業務や経費の面から難しさもありますが、今後も学校として計画的な参加を進めていければと思います。

- 指導の振り返り(充実した授業づくり)を目標に進めている専任講師による「公開授業」「学生による授業評価」を今年度も計画通り実施することができました。非常勤講師から公開授業及び授業参観に参加したい旨の声もあがっていますことから、次年度は取組をより広げていくよう進めていきたいと思います。

- 教員及び講師の資質向上に向け、研究・実践の成果を「研究紀要」としてまとめ、関係機関に発信していますが、今年度も第8号を発刊することができました。非常勤講師の発表を更に拡大しながら毎年の発刊を目指していきたいと思います。

4. 学修成果

- 退学、出席率、学びへの意欲などの問題解決への基本は「学生一人一人に寄り添い支援していく姿勢」(一人一人に応じた指導体制)を教職員全員で取り組み確立することです。今後も教職員の共通理解を大切にしながら、意図的・計画的に進めていきたいと思います。

- 就職を希望する学生の就職率はほぼ100%であり、就職先もほぼ100%が学びに関連した業種になっています。ただし、卒業生の中には短期間のうちに離職するという事例も見られ、卒業後の状況の把握が課題としてあげられていました。今年度は、年度末に卒業生に連絡を取り、現状をおさえることができました。今後も調査を継続し、現在学んでいる学生との関わり(就職指導等)に生かしていきたいと思います。

5. 学生支援

(1)支援体制

- 本校では、小・中・高校の学級担任に当たるTA(ティーチング・アドバイザー)をおき、個人面談、生活相談、教育相談、就職相談などを行っています。学生各々が持つ課題等は一人一人異なり、近年は関りを要する学生が増加傾向にあります。小規模校であることを生かし、個に応じたきめ細かな指導をTAを中心としながらも学科全員で共存しながら進めていきたいと思います。

- 学生個々への関わり(支援)を充実させるために、専門的な知識を持つ外部の方々と連携を模索してきた結果、今年度から、教職員、学生(及び保護者)を対象とした面談(相談活動)を釧路市障がい者基幹相談支援センターにご協力いただけることになりました。学生の状況の把握や支援の具体について、数多くのアドバイスをいただき、学生への支援充実に大きな力となっています。今後もサポートをいただきながら、学生支援を力強いものにしていきたいと思います。

(2)連携体制

- 本校で学び、その学びをもとに職業生活を送っている先輩から、働くことの喜び、やりがい、苦労、悩みなどの体験談を聞くことは、様々な面で学生に役立つとともに、本校教育活動の振り返りにつながります。今年度は、オープンキャンパスにおいてその機会を設けることができました。一層の機会設定について検討したいと思います。

- 学生が意欲的に学び、充実した学校生活を送る上で、保護者の役割には大きなものがあります。保護者との連携については、他管内在住の方も多く、難しさもありますが、次年度は入学日に保護者説明会を開催(今年度はコロナ禍により資料送付)するとともに、個別面談等による情報共有についても検討したいと思います。

6. 教育環境

- 釧路市の補助金については教材等の充実に向けて年次計画を立てて執行しており、今年度は介護実習用ベッドの更新(購入)、個人レッスン室用ピアノ購入等に充てました。令和3年度は、両科の新聞購読や図書購入を継続するとともに、年次執行計画に基づき介護実習モデルの購入、個人レッスン室用ピアノ購入等を進め、両科の授業の充実を図っていきたいと考えています。財政的な面から、教育環境の整備を一気に向上させることはできませんが、今後も中長期的な展望を持ち計画的に進めていきたいと思います。

- スクールバスを利用した体験型の授業は、本校の特色ある教育活動の大きな要素になっています。今後も一層の充実を図っていきます。

7. 学生の受け入れ募集

- 今年度はコロナ禍の中で制約された取り組みはありましたが、今年度もホームページ、オープンキャンパス、高校訪問、出前・来校講座など、情報発信(広報活動)や学生募集活動を通して本校の良さの発信に力を注いで取り組んできました。また、年度末には、「SenSen(ニュースマガジン)」を3年半ぶりに復活させることができます。今後2号の発刊を予定しています。高卒生の著しい減少もあり、ここ数年入学生数は依然として厳しい状況が続いているですが、本校諸課題改善への取り組みを基本としながら、ホームページの充実(学生による学校紹介動画配信等の新たな取組)、紙媒体の良さを最大限に生かした魅力ある「SenSen」づくり等に取り組み、学生増につなげていきたいと思います。

- 釧路新聞社、北海道新聞社による本校教育活動の紹介(応援)に心から感謝しています。今後も両社のお力をおりながら、本校の活動や魅力を市民に発信していきたいと思います。

8. 財務

- 充足率が50%を切っている状況が続いていることから、財務には厳しい状況にありますが、前述の広報活動・募集活動を充実させるとともに、在校生の学校に対する評価の向上(それが高校の後輩に伝わっていき、募集活動にも関わることから)、中退者減にもしっかりと向き合いながら進めていきたいと思います。

- また、限られた予算のなかで最大限の成果を生むように、今後も努力を続けていきたいと思います。

9. 法令の遵守

- 法令遵守は組織運営の根幹に係わる最も重視されるべき事項で、学校関係者評価においては例年高い評価をいただいている。引き続きしっかりと対応していきたいと思います。

10. 社会貢献・地域貢献

●社会貢献・地域貢献は本校が大切にし、力を注いでいる取組のひとつで、例年、学校関係者評価において最も高い評価をいただいている項目です。新型コロナウイルス感染防止の観点から、今年度は回数が減少したものが多くありましたが、出前・来校講座、地域から要請のボランティア活動、本校自然環境教育センター主催による市民参加型の「釧路自然再発見シリーズ」「講演会」、研究紀要の発刊など、可能な範囲で継続して取り組むことができました。来年度も積極的に取り組み、地域等の期待に応えていきたいと考えています。

●毎年10月に学生会主催の学校祭を開催し、地域住民の方に楽しいひとときを過ごしていただくとともに学校の良さなどを地域に向けて発信しており、学生にとって大事な取り組みの一つとなっています。令和2年度は、学生会活動のテーマを、法人の「発展計画」に示されている学院・学園の在り方(方針)の中から「誰かに必要とされるって素晴らしい」とし、学校祭のねらいが「地域の方々との交流」「学校の認知度を高める」であることも明確化して取り組むことにしました。しかし、新型コロナウイルス感染防止の観点から学校祭は中止とせざるを得ませんでしたが、上記学生会の思いを「町内会と連携した地域清掃の実施」と「垂れ幕(地域に向けた応援メッセージ)の設置」という形で具現化することができました。学生会活動のテーマを一層力強いものにする来年度でありたいと思います。

※今年度は、全13項目のうち、12の項目で平均値が昨年度より向上しました。「2.学校運営」の項目のみ昨年度より低い数値となっています。
※13の項目で、相対的に平均値上位を占めたのは、「10.社会貢献・地域貢献」「3.教育活動(1)教育課程」「9.法令遵守」「3.教育活動(2)指導・評価」「7.学生の受け入れ募集」「1.教育理念・目的・人材像」です。

※また、相対的に平均値が低かったのは、「6.教育環境」「8.財務」「2.学校運営」「3.教育活動(3)教員・研修」です。